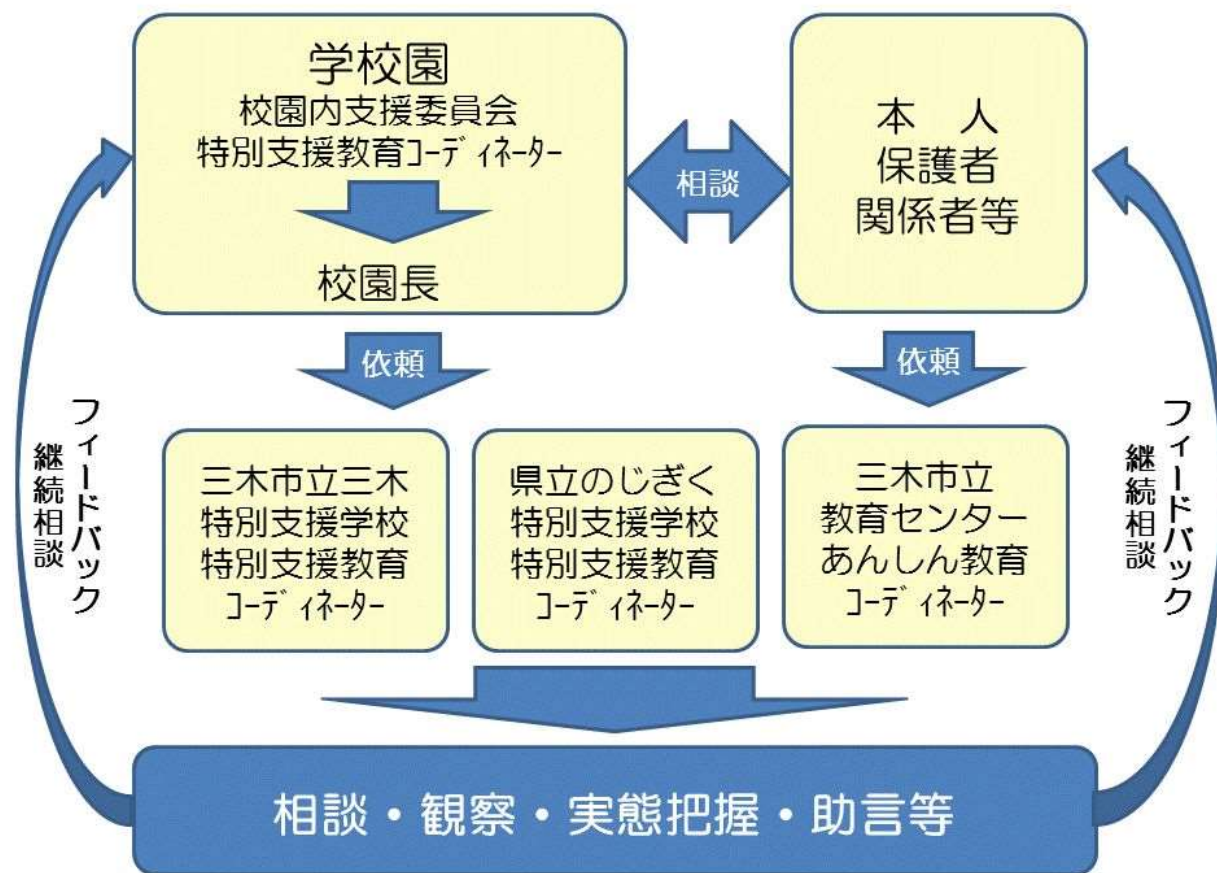


## 4 教育相談の流れ



教育相談は、主に三木特別支援学校特別支援教育コーディネーターと、教育センターあんしん教育コーディネーターが行っています。県立のじぎく特別支援学校特別支援教育コーディネーターに依頼することもできます。

教育相談の申込みは、学校園や本人・保護者等から直接行います。相談内容は原則として公開することはありませんが、相談者の了解が得られる場合は、連携を図るために関係機関と情報交換をすることもできます。

教育相談は、子どものことを本人・保護者や学校園、関係機関と一緒に考えていくための一つのきっかけです。教育相談を機会にして、それぞれが連携し合い、子どもの困難さや苦手さが少しでも軽減でき、日々の生活がより楽しくなることを願っています。

三木市立三木特別支援学校 ☎84-0830  
 県立のじぎく特別支援学校 ☎078-994-0196  
 三木市立教育センター ☎83-2020



## 教育相談の具体例

### 【就園や就学に関する相談】

5月から8月にかけて、就園や就学に関する相談があります。「幼稚園等に入園させたいが、他の子と一緒にやっていけるだろうか。」「小学校入学を控えて、通常の学級がいいか、特別支援学級（特別支援学校）がいいかを考えたい。」などが主な相談内容です。はじめに、お子さんの様子や本人・保護者の願いを聞かせてもらいます。そして、必ず学校園に見学に行ってください。園や学校での子どもたちの様子を見ていただくことによって、自分自身やご自身のお子さんがどんな生活をするのか、イメージが持ちやすくなります。一回の見学でイメージが持ちにくい場合は、2回、3回と見ていただくようにしています。並行して相談を行いながら、最後には本人・保護者が納得のできる結論を得てもらおうようにしています。本人も保護者も安心して入園・入学を迎え、楽しく通園・通学をしてくれることを願っています。



### 【行動や学習についての相談】

保護者から、「なんとなく落ち着きがないように思う。」や「忘れ物が多くて、本人も困っている。」等の相談があります。また、園や小中学校からは、「学習上で支援が必要だと判断し行っているが、支援の方法は適切なのか。」等の相談があります。このような相談の場合は、できる限り学校園での子どもの様子を見させてもらうようにしています。そして、困っていることについて、その背後にはどのような原因や理由が考えられるのか。どのような支援をすることが望ましいのかを相談者とともに考えます。1回の相談ではなかなか方向性が見つけられない場合があります。そのような場合は、ある程度期間を開けて再度相談や観察を繰り返します。保護者や学級担任等が子どもの状態を正確に理解し、より適切な支援につながることを願っています。

### 【ケース会議への参加】

学校園においては必要に応じて、支援が必要な子どもたちへの支援の仕方について、関係者が集まって意見交換をする「ケース会議」を行っています。学校園では一人の子どもについて、複数の職員が支援を行います。職員相互の共通理解を図るためにケース会議は有効な方法です。そのケース会議に関係者の立場で参加し、意見交換を行います。ケース会議のなかで、保護者との相談の必要性が確認された場合は、学校園と協力して保護者の教育相談につなげています。

